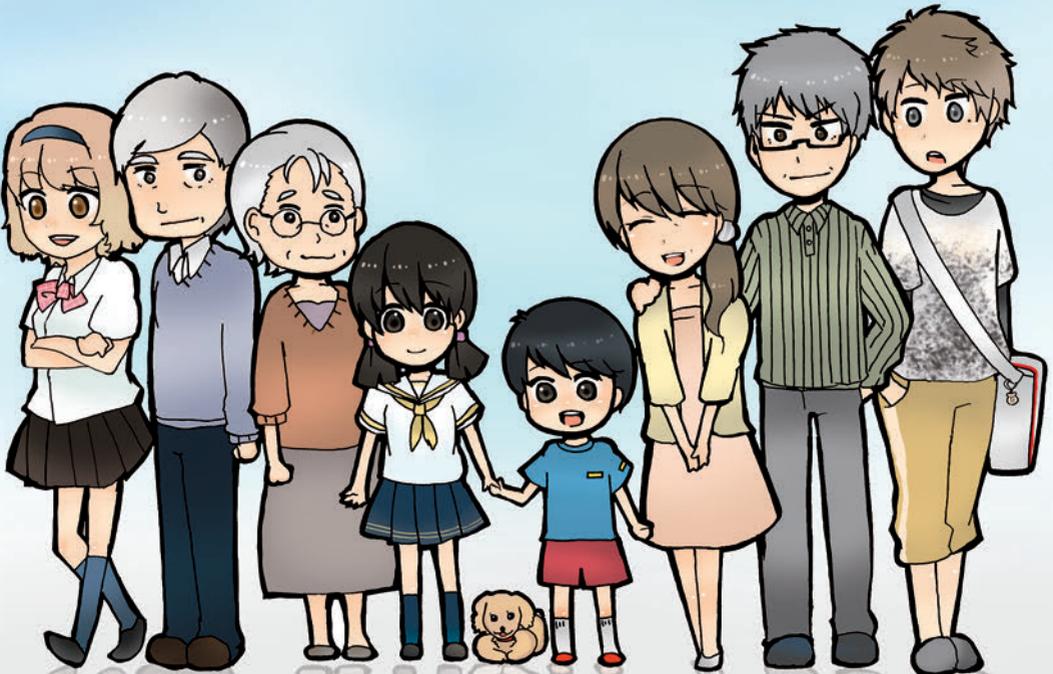


おもい

想

いじめをなくすために



大人は子供の「かがみ」、

学校はひとつの小さな地域社会。

その地域社会に暮らす大人たちが、自分自身を振り返って、
子供たちに正しい手本を示すことが大切です。

子供たちの心は、生まれた時には、素直で真っすぐです。
それを歪めてしまったのは、一体誰なののでしょうか？



今、自分たちにできる事から



始めましょう、

「おもい」を伝えるために。

「いじめ」が社会問題として、クローズアップされるようになったのは、
今から30年程前、1980年代です。

それまでにも「いじめ」という行為はあったものの、
「遊ぶ・からかう・じゃれる」という言葉で穏やかに表現され、
「成長の通過点」のように考えられていた側面があります。

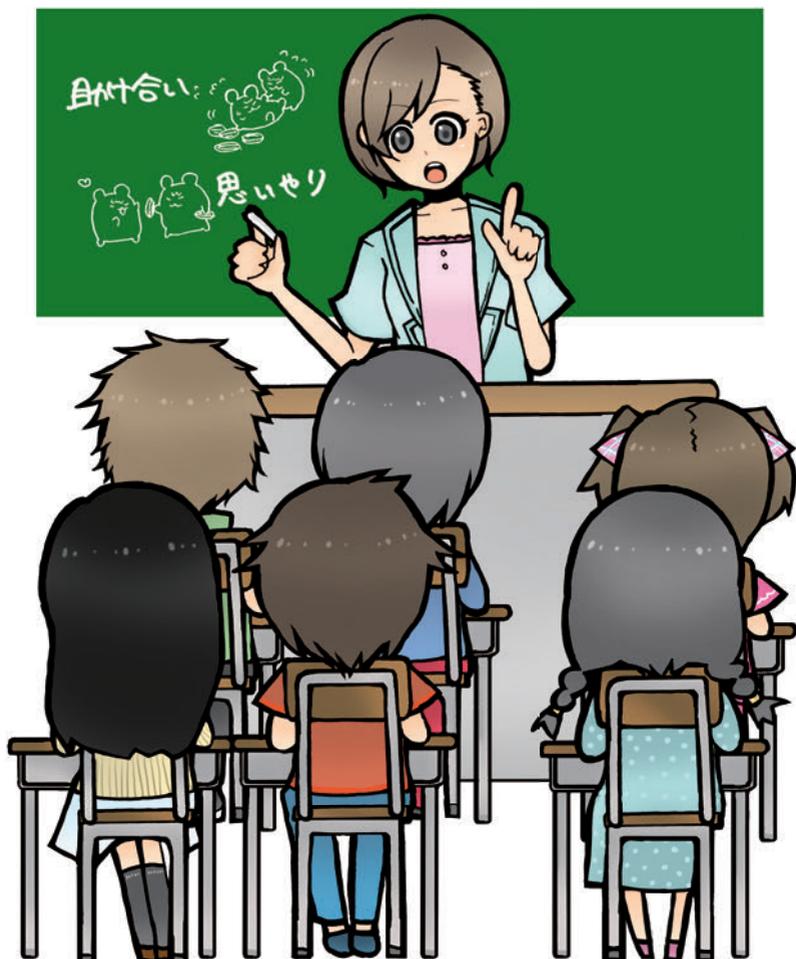
親や教師が、子供に対して今よりもっと威厳を保てた時代は、それで良かったのでしょうか。
子供は「弱い者をいじめるな」「年下の者を守れ」と言われれば、それを守ったものです。

今、時代は変わり、
「自由」と「放任」の意味を履き違えた社会の中で育った子供たちに対して、
「弱い者をいじめるな」という言葉はいつのまにか死語になってしまいました。

「いじめ」を少しでも防止するために、我々にできることは、
子供たちの心の中に「他人をいたわる思いやり」と「助け合い」の気持ちを育むことです。

ゲームというバーチャルな世界で育って来た子供たちに、

言葉だけでは伝えられないもの、
それを伝えてください。



家庭でできること 1

* 家庭内のルールを作る



お父さん、お母さん、
兄弟たちと挨拶しようね。

(おはようございます。ただいま。
いただきます。おやすみなさい。)



食事は、家族皆で楽しく
会話を交えて！

(携帯電話やゲームは使用禁止)

大切なのは、子供たちだけにルールを守らせるのではなく、
親である自分たちにも同じルールを公平に課すことです。

挨拶と食事は、大切な家族間のコミュニケーションです。

また、夜、携帯電話の電源を切っても、必要な時は家庭用電話があります。



夜は、携帯電話の電源は切ろうね！
（※電源を切る時間は家族で
話し合って決めてください）



夜間の携帯電話の充電は、
居間（家族の集まる部屋）でしてね！

こころ優しい子供に成長してもらうことが、
「いじめ」をしない、「いじめ」にあわない
一番の近道です。

家庭でできること 2

* 親の価値観を子供と共有する

子供のいる所での次のような行為を慎みましょう。



夫婦喧嘩や大きな声で
他人と口論をする



他人（特に学校関係者）の
悪口を言う、噂話をする

子供と会話することはとても大切なことです。

しかし、自分の価値観は、どんなに言葉を尽くしても、言葉だけでは伝えることはできません。

「子供は親の背中を見て育つ」というように、私たちはその行動をもってしてしか、本当の意味で、子供と価値観を共有することはできません。

逆に次のようなことは、率先して行いましょう。



近所の方、知り合いに挨拶をする



いつも笑顔で心掛ける



車中で年配の方などに席を譲る

教育は、子供が生まれたその日から、家庭で始まるのです。

その教師は、親である「あなた」です。

今日からでも遅くはありません。できることから始めましょう。

家庭でできること 3

＊「いじめ」という言葉を使わない



もし、子供がいじめにあっていたとします。
子供は、親や学校の先生に自分がいじめられていることを
訴えられるでしょうか。



「いじめ」という言葉は、
「弱い者」を「いじめる」という意味であり、
つまり、「いじめられる」のは「弱い者」ということです。



自分が「弱い」と親や先生に言える子供がいるでしょうか？
自分が「弱い」とは誰も認めたくない、だから我慢する、耐え忍ぶ。
その子は、心の優しい子なのです。

「命は大切だ」

他人事のように伝えるのではなく、

ただ一回「あなたが大切だ」

そう、自分の言葉で話しかけましょう。

「いじめ」という言葉が、「弱い者」を「いじめる」という行為を
世の中が認めているというふうに捉える子供たちを生んでしまいます。

いつの間にか、「遊び」がエスカレートして「いじめ」となってしまいます。
子供たちの遊びかたに、注意の目を向けましょう。

家庭でできること 4

＊子供の変化を見逃さない



態度の変化

| 初期の兆候 | → | その後の兆候 |
|-----------------------|---|-----------------------------------|
| 何かを言いたそうだが、たずねても答えない | → | 家族と話をしなくなり、部屋に閉じこもるようになった |
| 学校や友達への不満をよく言う | → | 学校や友達のことを話さなくなった |
| 不自然に明るく、楽しそうに振る舞う | → | 日曜日の夜など、学校が始まる前の夜に暗く落ち込んでいるようになった |
| 表情や動作に元気がない、食欲がない | → | ため息が多くなり、無気力で「もう、どうでもよい」と言うことが増えた |
| いつもイライラしている | → | 家族や近親者にあたるようになった |
| メールを受け取ると不愉快そうな暗い顔になる | → | メールにおびえるようになった |



生活の変化

| 初期の兆候 | → | その後の兆候 |
|-------------|---|----------------------------|
| 学校に行きたがらない | → | 朝起きない、しばしば学校を休むようになった |
| 身だしなみが乱れて来た | → | 物の扱いが乱暴になり、 物にあたるようになった |
| 持ち物をしばしばなくす | → | お金を要求するようになった |

.....
 以上のような兆候が見られたら、子供は「意地悪」や
 「嫌がらせ」などを受けているかもしれません。

「いじめ」という言葉を使わずに、
 「あなたのことが心配なの」と
 素直な気持ちを伝えてください。

地域社会でできること 1

＊子供たちに声をかけましょう



学校内以外で一番「いじめ」が起こりやすいのは、帰宅途中です。

子供たちに声をかけることにより「近所のおじさん」や

「近所のおばさん」を意識してもらいましょう。

また、子供たちが何と呼び合っているか、注意して聴いてみてください。

小首を傾げたくくなるような「あだ名」で呼ばれている子供は、

精神的な「いじめ」を受けているかも知れません。

●アドバイス・解決策

- ・子供たちの話を注意して聴いてみましょう。
- ・子供たちの反応をよく見ましょう。
- ・若い人を巻き込んだ子供会を作り、より地域の子供と密接になりましょう。

地域社会でできること 2

＊他人の親切心を素直に受け取りましょう



電車やバスの中で他人に席を譲られて、「私まだそんな歳ではないので」と

不愉快そうな声で断っている人を時々見かけます。

小さな勇気を振り絞って、「どうぞお座りください」と

譲った人の気持ちを考えてください。

また、それを周りで見ている子供たちのことを考えてください。

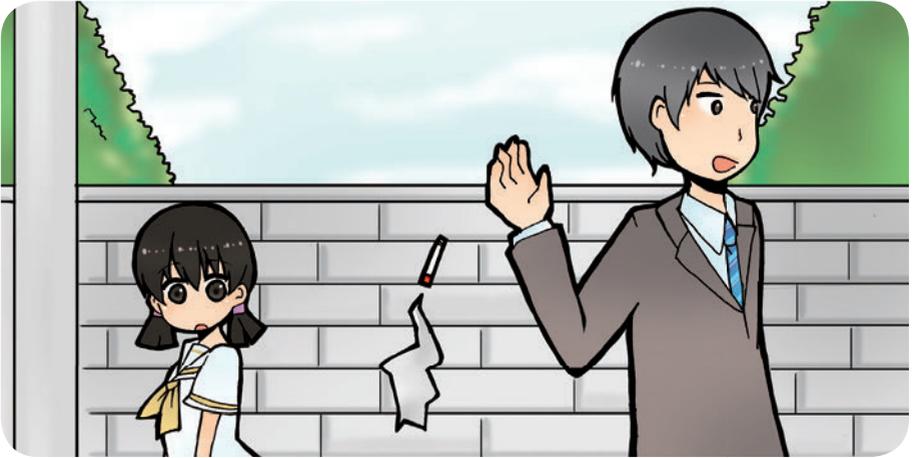
小さな親切心を地域ぐるみで育てていきましょう。

●アドバイス・解決策

- ・小さなことから始めましょう。それが10年後、20年後に地域社会を育みます。
- ・他人からの親切心を当たり前と思わず、お礼を言うことも大切です。
- ・他人の気持ちも考えた行動や、発言をしましょう。

地域社会でできること 3

＊ 社会のルールを守り、模範を示しましょう



あなたは信号をちゃんと守って、道を横断していますか？

子供たちの前で歩きながら煙草を吸っていませんか？

空き缶、ゴミ、煙草の吸い殻などを、車窓からポイ捨てしていませんか？

子供たちには注意している事を、無意識で自分がしていることはありませんか？

そんな大人たちの言う話を子供たちが聴いてくれるはずがありません。

地域社会に暮らす大人として、地域の子供たちに模範を示してください。

●アドバイス・解決策

- ・ 他人の迷惑を考えて行動しましょう。
- ・ 子供の手本になれるような大人になりましょう。
- ・ マナーを守ることが、子供たちを守ることに繋がります。

地域社会でできること 4

* 学校の開放運動を推進しましょう



地域の大人たちがより子供たちに関心を持つような

学校のオープン化が大切ではないでしょうか。

そうすることによって、子供たちが地域の大人たちを

意識することになるでしょう。

また、大人たちも子供たちの学校内での様子を知ることができます。

● アドバイス・解決策

- ・ 図書館や体育館を放課後開放してもらう。
- ・ 空き教室を、地域のサークル活動に開放してもらう。
- ・ 地域社会人による課外授業を実施してもらう。
- ・ 教師と親だけでなく、生徒と地域住民をも巻き込んだ学校評議会を開催してもらう。

いじめ相談窓口一覧

●いじめ（一般）

□電話相談

- ・川崎いのちの電話 TEL:044-733-4343 (24 時間対応)
- ・いじめ相談ダイヤル TEL:0570-078-310 (全国共通 /24 時間対応)
- ・子どもの人権 110 番 TEL:0120-007-110 (全国共通 / 通話無料 / 平日 /8 : 30 ~ 17 : 15)
- ・かわさきチャイルドライン TEL:080-6756-7763 (祝日以外の水曜日 /16 : 00 ~ 21 : 00)

□相談掲示板（インターネット）

- ・いじめ撲滅ネットワーク <http://members.jcom.home.ne.jp/i-network/>
- ・いじめと戦おう！ <http://www.ijimetotatakaou.com/>
- ・@いじめ <http://ijime.playzm.net/>

●いじめ（インターネット）

□電話相談

- ・法務省 みんなの人権 110 番 TEL:0570-003-110 (全国共通 / 平日 /8 : 30 ~ 17 : 15)

□相談掲示板（インターネット）

- ・法務省 インターネット人権相談受付窓口 <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>
- ・神奈川県警 サイバー犯罪情報受付フォーム <http://www.police.pref.kanagawa.jp/mai/fmhi-tec.htm>
- ・違法・有害情報相談センター <http://www.ihaho.jp/index.html>

●アドバイス

自分の悩みを相談することは、恥ずかしいことではありません。

相談することで、解決することもあります。



●参考文献

- ・土屋基規・他編著（2005）
「いじめととりくんだ国々ー日本と世界におけるいじめへの対応と施策」 ミネルヴァ書房
- ・森田洋司（2010）
「いじめとは何かー教室の問題、社会の問題」 中公新書
- ・佐藤順一・他編著（1999）
「イジメは社会問題である」（イジメブックス イジメの総合的研究 5） 信山社
- ・内藤朝雄（2009）
「いじめの構造ーなぜ人が怪物になるのか」 講談社現代新書
- ・渡辺真由子（2010）
「大人が知らない ネットいじめの真実」 ミネルヴァ書房
- ・渡辺和子（2012）
「置かれた場所で咲きなさい」 玄冬社
- ・砂川真澄・他編著（2008）
「いじめの連鎖を断つーあなたもできる『いじめ防止プログラム』」 富山房インターナショナル
- ・少年少女組織を育てる全国センター編（1995）
「いじめ・子ども世界なにか問題かー地域に子どもの仲間と生活を」 青木書店



家庭・学校・地域で
いじめをなくすためにできることを、考えよう！
きっと答えはあるはず。

ふうん太くん

©2012 KAWASAKI FRONTALE CO., LTD

新極真会は、『心極める』を理念に
「青少年育成」「社会貢献」「国際交流」
を使命とし、活動しています。



NPO法人 全世界空手道連盟

新極真会

制作・編集：川崎北ロータリークラブ社会奉仕委員会

©2012 Rotary Club of Kawasaki North